

人間と生活・社会の理解

基礎分野

授業科目	家族看護学	講師	氏名	木下 みゆき	開講年次	単位・時間	
			所属				
			実務経験	臨床看護師 (元准教授)	2年次 前期	1単位 30時間	
科目のねらい	家族とは、システムとしての特徴を有しながら発達している1単位の生命体である。現在の社会システムでは、家族成員個々の選択と決定が優先されている。社会情勢の変化により多様化する家族の在り方を理解した上で、看護の対象として捉え、家族が持てる力を発揮し、問題解決能力を高める援助方法を理解することが望まれる。家族看護学では家族及び家族関係についての理解を深め、家族への支援、病と家族の苦悩について理解を深める。						
到達目標							
知識・技術	1. 健康問題を持つ家族への看護の特徴について説明できる。 2. 家族の機能、役割、特徴について説明できる。						
思考判断・表現	1. 家族の定義を具体的に述べることができる。 2. ジェノグラム、エコマップを基に家族アセスメントが描ける。 3. 家族関係および家庭の問題について討議し発表できる。 4. 家族の苦悩について、役割を考えながら演じることができる。						
主体的学習態度	1. グループワークで、自分の意見を積極的に述べ、ディスカッションすることができる。 2. 基礎的知識、講義での知識を活用し教科書を用いて自己学習することができる。 3. 留意事項を復習し、演習に参加することができる。						
科目評価	定期試験（筆記）50% レポート30% ロールプレイ20% 合計100%						
テキスト	系統別看護学講座 別巻 家族看護学（医学書院）						
参考文献	家族看護学 家族のエンパワーメントを支えるケア（メディカ出版）						
回数	教育内容	教育方法			講師	関連科目	留意事項
		講義	演習	その他			
1	家族の定義、家族の基本理念、家族機能	○			木下みゆき	文化人類学 医療人類学 発達心理学 周産期の看護 リプロダクティブヘルスの看護	家族発達論、フリードマン家族アセスメントモデル、カルガリー式家族アセスメント介入モデル、家族ストレス対処理論、家族看護エンパワーメントモデル、家族生活力量モデルについて復習しておくこと。
2		○					
3		○	○				
4	家族の問題について	○	○				
5	夫婦関係論・親子関係論 配偶者選択についての発表		○				
6			○				
7			○				
8	健康問題を持つ家族への看護		○				
9			○				
10	家族の苦悩の場面を考える（1）		○				
11	家族の苦悩の場面を考える（2）		○				
12	家族の苦悩の場面を考える（3）		○				
13	GWの発表（1）		○				
14	GWの発表（2）		○				
15	まとめ	○					